

各位

杜の都信用金庫

2025年度 上半期（4月1日～9月30日）の業績等について

杜の都信用金庫の2025年度上半期（4月1日～9月30日）の業績等についてお知らせいたします。

【1】収益面について

◇ 増収・減益となりました。

（単位：百万円・％）

	経常収益		経常利益		業務純益		コア業務純益		当期純利益	
		増減率		増減率		増減率		増減率		増減率
2025年9月	3,798	18.4	629	△27.1	650	△12.9	841	△6.1	614	△5.1
2024年9月	3,207	11.4	863	14.9	746	△0.7	897	19.2	647	17.1

貸出金利息を中心とした資金運用収益等が増加したことにより増収となりましたが、預金利息を中心とした資金調達費用等が増加したことにより減益となりました。

【2】業容面について

◇ 預金残高、貸出金残高ともに増加しました。

（単位：百万円・％）

	預金				貸出金			
	平残	増減率	末残	増減率	平残	増減率	末残	増減率
2025年9月	599,117	△0.3	625,538	0.2	382,644	5.2	386,597	2.2
2024年9月	601,152	△0.5	624,190	0.5	363,563	4.9	377,966	7.6

預金は、懸賞付定期預金の提供など、お客さまや地域のニーズにお応えしてまいりましたことから、末残が増加しました。

貸出金は、「もりしんビジネスモデル」の実践により、お客さまや地域ごとの課題等に応じた円滑な資金供給や付加価値の高い提案に努めてまいりましたことから、平残・末残ともに増加しました。

【3】健全性について

◇ 地域金融機関として十分な健全性を維持しています。

	自己資本比率		不良債権比率	
2025年9月	11.86%	1.20ポイント上昇	2.01%	0.46ポイント改善
2024年9月	10.66%		2.47%	

※不良債権比率については、金融再生法に基づき開示しております。

自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性、安全性を十分保っております。

杜の都信用金庫は、笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」として、地域やお客さまの課題解決に貢献できるよう努めてまいります。